

| | | | |
|------------|-------------------------------|---------|-----------------------------|
| ふりがな 氏名 | たまき とおる 玉木 徹 | 職名 | 講師 |
| 取得学位 | 博士(保健学) | 学会での受賞歴 | 第8回日本糖尿病理学療法学会優秀賞受賞(令和4年9月) |
| 主な担当科目 | 基礎ゼミナール、理学療法評価学、内部障害理学療法評価学演習 | | |
| 所属学会 | 糖尿病理学療法学会、日本生理学会、日本神経科学学会 | | |

◆ 教育業績

| 事項 | 実施年月(日) | 概要 |
|-----------------------------|------------------|--|
| OSCEを利用した授業の実施(健康科学大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 臨床実習への対応のため、模擬症例を提示しOSCEを口頭試問、実技形式で実施した。内容が不十分であった学生に対してはフィードバックを行い、自己学習を実施する必要がある点を明確化した。 |
| 臨想的思考を養うための症例検討の実施(健康科学大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 臨想的思考を養うため、臨床実習の前後で症例検討を行い、小人数制のグループで発表を行うことで、理解度を深めた。 |
| Active Learning の活用(健康科学大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 演習系や実習系の授業において、理学療法の実施に必要な基礎的な実技を学習し、後半でその技術をどのように臨床で応用できるかを、グループワークで議論し理解を深めた。 |
| PBLの実施(健康科学大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 症例情報を提示し、小人数制のグループで意見交換・討論を行い、問題点やその解決法を考える機会を提供した。 |
| 英文抄読の実施(健康科学大学) | 平成30年4月～平成30年12月 | 卒業研究の担当学生を対象に英文抄読を週に1回実施し、研究テーマに関する知識を高めた。 該当科目:卒業研究(配当年次4年) |
| 卒業研究指導(健康科学大学) | 平成30年4月～平成31年2月 | 「糖尿病モデルラットの末梢神経損傷後の機能回復に与える加齢の効果」という代謝疾患、運動器疾患それぞれの特徴を捉えることができるテーマで卒業研究の指導を行った。事前に動物実験教育訓練を実施し、研究手法、論文作成の指導全般を行った。 |
| ポートフォリオの作成指導(健康科学大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 見学実習に際して、事前学習や事後学習の内容を加えてポートフォリオの作成を行い、事前に立案した実習の目標に対する達成度の確認を行った。 |
| 動物実験教育訓練の配布資料(健康科学大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 卒業研究などで動物実験を行う学生に対して、学内で実施する動物実験教育訓練の配布資料を作成した。動物実験を行う意義、注意点を学生が理解しやすいように配慮し作成した。 |

| 事 項 | 実 施 年月(日) | 概 要 |
|---------------------------|----------------|--|
| 授業の要点をまとめた配布資料の作成(健康科学大学) | 平成30年4月～令和4年3月 | 授業毎に要点をまとめた配布資料を作成し、予習・復習の際に使用できるように配慮した。また、自身の臨床経験や、研究結果から得た知見について紹介し配布資料の作成を行った。 |

◆ 研究業績

| 区 分 | 著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称 | 単 ・ 共 | 発 行・ 発 表 年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名) | 備 考 |
|-----|---|-------------|----------------------|--|--|
| 論 文 | Streptozotocin- induce diabetes causes crucial morphological changes in abdominal motoneurons and muscles | 共 | 平成30年6月 | International Journal of Physical Therapy and Rehabilitation, 4: 143 | Naomi Oshiro, Ken Muramatsu, <u>Toru Tamaki</u> , Masatoshi Niwa |
| | Effects of streptozotocin-induced diabetes on leg muscle contractile properties and motor neuron morphology in rats | 共 | 平成30年6月 | Anatomical Science International, 93: 502-513 | <u>Toru Tamaki</u> , Ken Muramatsu, Masako Ikutomo, Naomi Oshiro, Hisae Hayashi, Masatoshi Niwa |
| | Neck and trunk representations in the primary motor cortex in rats | 共 | 令和1年5月 | Journal of Physical Therapy Science, 31, 608-611 | Yoshihito Sekiguchi, Ken Muramatsu, <u>Toru Tamaki</u> , Masako Ikutomo, Kazuo Kurosawa |
| | Motor cortex somatotopic presentation after restriction of neck movement in rats | 共 | 令和1年7月 | Journal of Physical Therapy Science, 31, 785-789 | Yoshihito Sekiguchi, Ken Muramatsu, <u>Toru Tamaki</u> , Masako Ikutomo, Kazuo Kurosawa |
| | 臨床実習実後の主観的満足度は学生のMotivationのタイプにより関連する尺度が異なる－主観的満足度とAcademic motivation scaleを用いた縦断的観察研究－ | 共 | 令和2年3月 | リハビリテーション教育研究,2020;26,72-77. | 坂本祐太,藤田大輔, <u>玉木徹</u> ,駒形純也,三科貴博,高村浩司 |
| | Functional and Structural Changes in the Corticospinal Tract of Streptozotocin-Induced Diabetic Rat | 共 | 令和3年9月 | Int. J. Mol. Sci. 2021; 22: 10123 | Ken Muramatsu, Satoshi Shimo, <u>Toru Tamaki</u> , Masako Ikutomo, Masatoshi Niwa |
| | The Relationship between Professional Identity and Academic Motivation Scale in Physical Therapy Students 理学療法学生の職業的アイデンティティと進学に対する動機づけの関連性 | 共 | 令和3年12月 | Rigakuryoho Kagaku 37(6):525-530 | Daisuke Fujita, Hiroshi Takamura, Junya Komagata, <u>Toru Tamaki</u> , Yuta Sakamoto, Takahiro Mishina |

| 区分 | 著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称 | 単 ・ 共 | 発行・ 発表 年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名) | 備 考 |
|------|--|-------------|--------------------|---|--|
| 論文 | 糖尿病が随意運動を制御する中枢神経に与える影響(総説) | 共 | 令和5年1月 | JJPTDM 2(1): 74-82 | 村松憲、 <u>玉木徹</u> 、生友聖子 |
| | Motor skills training-induced activation of descending pathways mediating cortical command to hindlimb motoneurons in experimental diabetic rats | 共 | 令和5年3月 | Exp Neurol; 363: 114357. | Ken Muramatsu, Naoko Niimi, Masako Ikutomo, Satoshi Shimo, <u>Toru Tamaki</u> , Masatoshi Niwa, Kazunori Sango |
| 学会発表 | 2型糖尿病に起因する筋障害と運動療法の効果 (口頭発表) | 共 | 平成30年7月 | 第5回日本糖尿病理学療法学会(横浜) | <u>玉木徹</u> 、村松憲、生友聖子 プログラム抄録集 p107 学会賞受賞 |
| | Difference in severity of motor neuron loss between the fast- and slow-twitch muscles in diabetic rats (ポスター発表) | 共 | 令和1年7月 | 第42回日本神経科学大会(新潟) | <u>玉木徹</u> 、生友聖子、村松憲、丹羽正利 PA-208 |
| | 神経障害の機能回復と内部障害による運動器系への影響 (シンポジウム 口頭発表) | 共 | 令和1年9月 | 第17回日本神経理学療法学会(横浜) | <u>玉木徹</u> 、宮本俊朗、村松憲 |
| | 運動神経再生に対する糖尿病の影響と運動療法 (口頭発表) | 共 | 令和1年9月 | 第6回日本糖尿病理学療法学会(沖縄) | <u>玉木徹</u> 、村松憲、生友聖子、丹羽正利 抄録集 p100 |
| | 糖尿病に起因するヒラメ筋の収縮特性の変化は低強度運動によって予防可能である。 (ポスター発表) | 共 | 令和3年8月 | 第7回日本糖尿病理学療法学会(Web) | <u>玉木徹</u> 、生友聖子、村松憲 抄録集 p28 |
| | 糖尿病に起因する運動ニューロン障害に対する低強度運動の効果 | | 令和4年9月 | 第8回日本糖尿病理学療法学会(Web) | <u>玉木徹</u> 、生友聖子、村松憲 優秀賞受賞 |